

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第11号）の送付について

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願  
いします。

記

情報の内容 クワノミハムシ及びキアシノミハムシによる被害の発生

対象作物 青しそ

1 発生経過

令和3年10月、松山市内の施設しそ圃場において、葉を食害するノミハムシ類が確認され  
た（写真1）。このため、岡山県倉敷市の末長晴輝氏に同定を依頼したところ、クワノミハ  
ムシ（*Luperomorpha funesta* Baly）とキアシノミハムシ（*Luperomorpha tenebrosa* Jacoby）  
であることが確認された。

2 形態及び生態

（1）クワノミハムシ

成虫は体長3.5mm内外。黒～黒褐色で、触角基部・膝部は黄褐色、跗節は褐色、背面は微  
細印刻のため光沢がやや弱い。上翅はやや強い点刻をかなり密に具え、翅端は疎な立毛があ  
る（写真3）。成虫はクワ、大豆、ミカン、コウゾ、カジノキ、ジュンギク、レンゲ等を食  
害する。野外では年2回発生し、羽化最盛期は4月下旬と7月下旬頃で、ノミのように飛び  
跳ねて移動する。幼虫は土中に生息する。

（2）キアシノミハムシ

成虫は体長2.5mm内外。クワノミハムシに似るが小型で、背面に光沢があり、触角・口部・  
脚は黄褐色、腿節中央・触角基部はやや褐色をおびる。上翅はやや粗い点刻を列状に備える（写  
真4）。成虫はミツマタ、大豆、小豆、ナツフジ、マルバハギ等を食害する。

3 被害の特徴

比較的若い葉を中心に、葉縁部や不正形な穴状に食害される（写真2）。なお、両種による  
食害の違いは不明である。

4 国内での発生状況

両種とも国内に広く発生する普通種であり、クワノミハムシはカンキツ類やクワ等の害虫と  
して、キアシノミハムシは大豆等の害虫として知られているが、しそへの加害は報告されてい  
ない。

5 防除対策

（1）令和3年12月現在、本種に対する登録農薬はない。

（2）クワノミハムシはカンキツ類に寄生するため、近隣にカンキツ園がある場合は、防虫ネ  
ット（目合い0.4mm目）等で侵入防止対策を講じる。



写真1 クワノミハムシ寄生状況



写真2 ノミハムシ類による加害状況



写真3 クワノミハムシ



写真4 キアシノミハムシ

